

観光経済常任委員会
《長崎県佐世保市》
観光客誘致促進事業

佐世保市の観光を取り巻く環境の変化、観光振興施策の重点方針、佐世保観光の受け入れ態勢整備を中心に視察を行いました。

近年、国内観光客数の増加を見込めない一方で、外国人観光客数は、円高と格安航空会社の就航などにより増加傾向にあるということでした。このため、佐世保市では「観光振興施策の重点方針」を定め、様々な取り組みを行っていました。その一つに、集客力の高い施設と他の観光資源を周遊促進する取り組みがありました。

また、『させば観光3しいGO事業』を平成二十六年度新規事業としており、これは「佐世保の美しい！ 楽しい！ おいしい！」を市民から募集し佐世保の魅力を観光客に発信していきたいという内容でした。

観光産業は、総合産業で多様な職種にまたがっており、まずは「行ってみたい」「そして「また行ってみたい」と思わせるよう、「魅力づくり」「誘致活動」「受け入れ態勢」の取り組みを、関係機関が連携しながら協働で行うことが重要だと感じました。また、佐世保市が行ったアンケートによると、「食」目的の観光客が増えているという結果からも、この点を重視しPRしていく必要があると感じました。

《福岡県糸島市》
糸島市農力を育む基本計画について

糸島市は、人口約十万人で福岡市に隣接し、ベッドタウンとなつています。また、九州大学伊都キャンパスがあり、いろいろな分野で連携・交流を図りながら、学術研究都市づくりを積極的に推進しています。

糸島市では、糸島の景観・風習・文化に大きな恵



長崎県佐世保市にて

みをもたらす食料・農業・農村が持つ力を『農力』と位置づけ、市民全体で育むため、行政・農業者・市民・食品産業従事者に対し、それぞれの責務、役割を条例で定め、具体的な施策を示したアクションプランを策定しました。特に印象深かったのが、学校給食の地場産品の使用割合四〇・二％で、これは畑作で多種作物が通年収穫できること、漁業も盛んであることが要因であるということでした。また、優れた経営感覚を持つ農業者が持続的に農業を展開することを目指しており、参考になりました。

議会運営委員会 視察報告

平成二十六年七月二十九日から三十一日に実施した議会運営委員会の調査視察の概要を報告します。

《群馬県富岡市》
議会基本条例制定後の状況について

富岡市議会では、予算、決算、条例については、委員会に付託して審査する方法で行っています。平成二十五年に『富岡市議会基本条例』を制定し、同年四月一日から施行されてお



群馬県富岡市議会にて

り、第三条に議員相互の自由な討議を推進すること、第十三条で議員相互の十分な議論を尽くして合意形成に努めると定められています。運用として、執行部は討議に加わらないが、委員長から発言を求められた場合はこの限りではないとしています。

また、議員のみの全員協議会での自由な討議が定められています。予定した案件が終了後、要請があれば自由討議ができるとしています。

条例が施行されてから、議案についての自由討議はいまのところないが、協議会での自由討議は一回実施されたこととです。条例に討議を設けたのは、議員同士でいろいろな考え方を自由に話したほうがさらに議論が深まるのではないかと、議会を活性化させようという趣旨でした。

り組みを始め、『上田市議会基本条例』を平成二十五年に制定、平成二十六年四月から施行しています。その中で、議長、副議長の選挙を行う場合、正副議長を志す者の所信表明の場を設けることを定め、実施しています。

本会議を休憩して、おの所信表明を演壇で行い、他会派からの質疑を許しています。

休憩中ではありませんが、全員協議会と位置づけて記録を残し、実際の選挙では所信表明しない議員の名前が書かれることもあるということでした。

当市議会でも、『十和田市ひらかれた議会づくり基本条例』が平成二十七年一月一日から施行されることから、議会改革について熱心な質疑応答がされました。

《長野県上田市》
所信表明会について

上田市議会では、平成十八年度から議会改革の取